

2018年4月7日(土) 木洩れ陽ホール

お花見わらべうた

◆10:00～(0歳児から2歳児までと保護者)
◆12:30～(3歳児以上大人まで)

0歳児から2歳児 500円 3歳児以上大人まで 1,000円

春のわらべうたを親子で楽しめます。合間に、
ピアノ・フォルテピアノ・オカリナの音楽にも耳を澄ませます。

わらべうた指導・ピアノ&フォルテピアノ演奏：中新井紀子
オカリナ演奏：山村多恵子

中新井紀子(なかあらいのりこ)：わらべうた



東京芸術大学音楽学部楽理科卒、同大学院修士課程修了。わらべうたを、つくば市の「とんとんやかた」にて近藤信子に学ぶ。2000年に西方音楽館を立ち上げ、ピアノ教室、わらべうた教室を開始。2012年西方音楽館に「木洩れ陽ホール」と「馬酔木の蔵」をオープン。西方音楽館館長、西方音楽館友の会会長、一般財団法人西方芸術振興財団代表理事

2018年4月7日(土) 木洩れ陽ホール

◆15:30～

西方音楽院オカリナ教室 & ギター教室発表会 (講師演奏あり)



オカリナ講師：山村多恵子
ギター講師：小川和隆
ゲスト：大塚道子(メゾソプラノ)

入場無料 (どなたでもお聴きいただけます)

2018年4月8日(日) 木洩れ陽ホール

◆13:00～ リレーコンサート (西方音楽院作曲教室発表会も含む)



木洩れ陽ホールで
ニューヨークスタインウェイを弾いて見よう!

◆スタインウェイソロ、あるいはスタインウェイを用いたアンサンブルを募集しています。ソロあるいはグループ、それぞれ10分以内。

参加なさりたい方は、西方音楽館までご連絡ください。
参加費：1人1,500円
(音楽祭コンサートチケットをお持ちの方は1,000円)

聴くだけの方は、無料。どなたでもお聴きいただけます。

公開ミニレッスン (体験時間)

4月14日 16:45～17:45
クラリネット公開ミニレッスン

4月15日 16:45～17:45
ピアノ公開ミニレッスン

4月21日 コンサート後
チェンバロ体験あり 無料

4月22日 16:45～17:45 ホールにて フォルテピアノ体験レッスン
16:45～17:45 馬酔木の蔵にて オーボエミニレッスン

※4月21日以外/1人15分～20分 受講料 3,000円 聴くだけの方は 500円

16:45～17:45 1人15分～20分 受講料3,000円
小学生、中学生歓迎。高校生以上と大人は、チェンバロがクラヴィコード経験者のみ(学習経験をお知らせください)課題曲があります。連弾曲1曲と、ソロの曲1曲
●連弾曲
テュルク：連弾曲集より(メールなどでお送りいたします)
●ソロの曲(下記より1曲)
モーツァルト/ソナタ K.545 2楽章
モーツァルト/キラキラ星変奏曲より(テーマ、Var.3、8)
クレメンティ/ソナチネ Op.36-1 第2楽章



受講生募集!

2018年4月14日(土) 木洩れ陽ホール

◆14:30～16:30 コンサート ◆16:45～17:45 ミニレッスン

武田忠善 フランスのエスプリ溢れるクラリネットの世界 ピアノ 久元祐子



フランスのエスプリ、香りと味わいに溢れる
武田忠善の美しいクラリネットの世界。
ピアノはモーツァルトシリーズでおなじみの久元祐子。
お二人の息の合ったデュオをお楽しみください。

曲目
ラポー：ソロ・ドウ・コンクール 作品10
ドビュッシー：クラリネットとピアノのための第1狂詩曲
ブーランク：ソナタ 他 [以上クラリネットとピアノ]
ドビュッシー：「月の光」/サティ：「お前が欲しい」
ショパン：夜想曲 変ホ長調 作品9-2
ワルツ 第9番 変イ長調 作品69-1「別れのワルツ」
[以上ピアノ・ソロ]

武田忠善(たけだ ただよし)：クラリネット



1975年国立音楽大学卒業後、フランス国立ルーアン音楽院にて巨匠ジャック・ランソロの許で研鑽を積み、同音楽院にて一等賞を得て卒業。1977年パリ・ベラン音楽コンクール、78年第47回日本音楽コンクール共に第一位、続く第35回ジュネーブ国際音楽コンクール銅メダル受賞(日本人初の入賞)。古典から現代音楽に至る幅広いレパートリーを持ち、楽器の可能性をも越えた甘美な音楽性とその妙技は、我が国最高峰のソロ・クラリネット奏者として知られている。教育面においても、パリ国立高等音楽院の他、米国、アジア各国等に招聘され、マスタークラスを行っている。正当なフランス派を伝える事の出来る数少ない演奏家、教育者。国立音楽大学学長・教授。

久元祐子(ひさもと ゆうこ)：ピアノ



東京芸術大学を経て同大学院修了。ウィーン放送交響楽団、ラトビア国立交響楽団、読売日本交響楽団、ベルリン弦楽四重奏団など内外のオーケストラや合奏団と多数共演。イタリア国際モーツァルト音楽祭に度々招かれリサイタルを開催。自ら19世紀の歴史的ピアノ(ブロードウッド、ブレイエル、エラール等)を所蔵し、演奏会や録音にも数多く取り組んでいる。ショパン生誕200年記念年には天皇皇后両陛下ご臨席のもとブレイエルで御前演奏を行う。CD「優雅なるモーツァルト」(レコード芸術特選版)ほか13作をリリース。著書に「モーツァルトのピアノ音楽研究」(音楽之友社)など多数。日本人で唯一のペーゼンドルフアー・アーティスト、国立音楽大学教授。http://www.yuko-hisamoto.jp/

2018年4月15日(日) 木洩れ陽ホール

◆14:30～16:30 コンサート ◆16:45～17:45 ミニレッスン

堀江真理子ピアノ・リサイタル ～日本の作曲家・滝廉太郎から木下大輔まで～



滝廉太郎が1900年に作曲した《メヌエット》は、日本人によって作られた最初のピアノ曲。以後明治、大正、昭和、平成を生きた作曲家たちは西洋音楽の作曲技法に日本文化を融合させ、真似ことではない凛とした光を放つ曲を作り上げていきました。その「日本の心」をぜひ聴きにいらしてください。

曲目
滝廉太郎 メヌエット(1900)/慟(1903)
山田耕筰 スクリャービンに捧ぐる曲(1917)
夜の詩曲/忘れ難きモスコの夜
月光に悼して(1917)
ピアノのための「からたちの花」(1928)
成田為三 「さくら」変奏曲(1942)
花に因んだピアノ曲(1935)
眞作秋吉 夜の狂想曲/さくらさくら/春のやよい
橋本國彦 三つのピアノ曲(1934)
雨の道/踊り子の箱舟/夜曲
湯山昭 お菓子の世界より(1972)
ポップコーン/マロン/グラッセ
鬼あられ/バウムクーヘン
木下大輔 ゆがんだ十字架のヴァリアント(2008)

堀江 真理子(ほりえ まりこ)：ピアノ



東京芸術大学在学中にフランス政府給費留学生として渡仏、パリ国立高等音楽院ピアノ科、室内楽科卒業、同音楽院の大学院修了。ブラハ国際音楽コンクール室内楽二重奏部門第1位、ジュネーブ国際音楽コンクールで銀メダル(1位なしの第3位)。パリ室内管弦楽団、読響、N響をはじめとする国内外のオーケストラと協演。幅広いレパートリーを持つ一方、フォーレはライフワークの作曲家として取り組んでいる。2007年以降は、近代の日本人作曲家のピアノ作品に積極的に取り組み、その成果はCDとして「1900年啓かれた日本のピアノ」にもまとめられている。著書に「堀江真理子のピアノ・ペダルテクニック 基礎編」、「同実践編」。尚美学園大学教授、日本大学大学院講師。国際ピアノデュオ協会理事。

2018年4月21日(土) 木洩れ陽ホール

◆14:30～16:30 コンサート ◆その後、体験コーナー

国際古楽コンクール(山梨)入賞記念 池田梨枝子 バロックヴァイオリン・リサイタル



ドイツ人のオルガン名手バッハ、イタリア人のヴァイオリン名手ヴェラチーニ。1717年—1723年にそれぞれケーテン宮廷、ドレスデン宮廷で活動しました。同じ時代を生きながらも交わることのなかった二人の、魅力溢れる強烈な個性をお伝えます。

曲目 J.S.バッハ(1685-1750)：
無伴奏ヴァイオリンのためのパルティータ第2番 二短調 BWV1004
ヴァイオリンとオブリガート・チェンバロのためのソナタ第6番 長調 BWV1019
F.M.ヴェラチーニ(1690-1768)：
アカデミック・ソナタ(作品2)より 第3番 八長調/第12番 二短調

野澤知子(のざわともこ)：チェンバロ



英国王立音楽院ピアノ科、東京芸術大学古楽科修士修了。パリ市立高等音楽院クラヴサン科にて満場一致栄誉賞付き最優秀演奏家国家ディプロムを取得。第17回国際古楽コンクール(山梨)第1位、ブルージュ国際コンクールディプロマ賞。文化庁芸術家在外研修員。鈴木雅明、N.スビート、C.ルセに師事する。D.スターン指揮「Opera Fuoco」等、ヨーロッパの古楽オーケストラにて、バロックからモーツァルトまでの通奏低音奏者として活躍。2014-15年「レ・タランリリック」(C.ルセ)オペラ製作研修員。東京にてラモーのオペラ「プラテ」、「優雅なインドの国々」をチェンバロと指揮。古楽アンサンブル「カンパニー・デュ・トリアノン」、チェンバロユニット「6 Mains 8 Pieds シマンウィビエ」、Studio Trianonを主宰する。http://studiotrianon.wixsite.com/home

池田梨枝子(いけだ りえこ)：バロックヴァイオリン



東京音楽大学、同大学院音楽研究科修了。大阪国際音楽コンクールAge-G 第2位、日本クラシック音楽コンクール、日本アンサンブルコンクール等に入賞。講談社・月刊マガジン連載の「四月は君の嘘」において、音源提供・ヒロインの演奏モデルを務め、好評を博す。大学卒業後古楽に傾倒し、東京芸術大学大学院修士課程(バロックヴァイオリン専攻)に進学し修了。第30回国際古楽コンクール(山梨)第2位。オーケストラ・リベラ・クラシカ等のオリジナル楽器のオーケストラ、アンサンブルに多数参加。現在はモダン・バロックを問わず、オーケストラ・室内楽・ソロなど幅広い演奏活動を行っている。ヴァイオリンを浦川宜也、山岡耕祥、中島郁子、植田しづか、バロックヴァイオリンを若松夏美、桐山建志の各氏に師事。

2018年4月22日(日) 木洩れ陽ホール

◆14:30～16:30 コンサート ◆16:45～17:45 ミニレッスン (フォルテピアノ：木洩れ陽ホール)
(オーボエ：馬酔木の蔵)

激動の時代 サロンを灯した語らいの音



ロマンティークオーボエ：三宮正満
フォルテピアノ：平井千絵

曲目 ジャック・クリスティアン・ミシェル・ヴィダーケア(1759-1823)：オーボエソナタより
モーツァルト(1756-1791)：ヴァイオリンソナタ へ長調 K377
イグナス・ブレイエル(1757-1831)による編曲
モーツァルト：ピアノソナタ 短調 K310

三宮正満(さんのみや まさみつ)：ロマンティークオーボエ



武蔵野音楽大学卒業。アンサンブル「ラ・フォンテーヌ」のメンバーとして97年、古楽コンクール(山梨)最高位、2000年、ブルージュ国際古楽コンクール第二位受賞。96年より「バッハ・コレギウム・ジャパン」J.S.バッハ=カンタータ全曲録音プロジェクトに参加し、数々のオーボエ・オブリガートを演奏。2004年「アンサンブル・ヴィンセント」結成。2008年より田村次男氏と共にオーボエ製作を始める。NHK-FM「名曲リサイタル」、NHK-BS「クラシック倶楽部」等に出演。CDとして「ヴィルトゥオーソ・オーボエ」(アントレ)、「19世紀パリのオーボエ作品集」、「ヴィダーケア・デュオソナタ集」を(フォンテック)よりリリース。現在「バッハ・コレギウム・ジャパン」首席オーボエ奏者、東京芸術大学古楽科講師。

平井千絵(ひらいちえ)：フォルテピアノ



桐朋学園大学ピアノ科卒業後、オランダ王立音楽院修士課程を首席卒業。欧州各地の音楽祭に出演、「傑出したフォルテピアノの専門家」と評され、オーストリア放送、ラジオ・フランス、オランダ国営放送などで採り上げられる。ブルージュ国際古楽コンクール他、国内外のコンクールに多数入賞。銀座・王子ホール主催のコンサートシリーズ「びあの部屋」では、親しみやすく古典派の音楽を紹介し好評を得る。NHKからクラシック、BSクラシック倶楽部などに出演。国内外で13枚のCDをリリース。レコード芸術誌特選に選ばれるなど、いずれも高い評価を得ている。東海大学音楽学課程非常勤講師。日本セヴラック協会、演奏表現学会会員。